

---

# 岐阜県立高山工業高等学校

学 校 長 藤田 正昭

学校住所 高山市千島町291番地 電話 0577-32-0418

---

1 **会議の名称** 平成28年度学校評議員会 (第2回)  
(兼学校関係者評価委員会)

2 **会議の構成** 委 員 稲野千賀子 (株) 新生メディカル  
内島 靖夫 (株) 飛驒印刷 代表取締役  
岡田 梅代 (株) クリエイティブフーズ  
白川 智彦 (株) シラカワ 代表取締役 社長  
松村 忠典 (株) 和井田製作所 総務部長

(委員名は五十音順)

育友会会長 堀 美鶴

学 校 側 藤田 正昭 校 長  
堀 修 教 頭  
谷口 淳 事務長  
岩島 義則 教務主任  
上垣内 忠 生徒指導主事  
門前 雅人 進路指導主事  
室谷 伸治 工業部長

3 **会議の目的** 岐阜県立高山工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成28年度の教育方針・重点項目に基づいた今年度の取組に対して評価していただくとともに、それについての幅広い意見・提言を受け、次年度への本校教育の改善・充実に資する。

4 **会議の開催** 日 時 平成29年1月28日(土) 14:00～16:40  
場 所 高山工業高等学校(校長室)  
出席者 委員5名、育友会会長と学校側7名の計13名が出席

## 5 会議の概要

### (1) 卒業作品展の参観

本校体育館で開催された卒業作品展を参観していただき、課題研究の授業で各学科の生徒が1年間掛けて研究した成果や製作物について、工夫した点や苦心した点などの説明を聞きながら、評議員会前に1時間程度見学していただいた。

### (2) 学校長挨拶

卒業作品展も参観していただき、お礼申し上げます。7月に引き続き今年度2回目の会議になりますのでよろしく願いいたします。この後各担当から今年度の取組の報告がありますが、いろいろご意見を言っていたきたいと思っております。

前回の会議においてご意見いただきました対応表の中で、「学校にエアコンを設置してはどうか」の検

討事項がありました。他校の状況を把握し、県費不可という状況を踏まえ、育友会での設置という案を作成し育友会実行委員会に提案いたしました。しかし、「生徒が減っていくこの少子化の中で未来の育友会会員の方に大きな負担をかけるのは得策ではない」というご意見が多く、「現状ある扇風機をさらに何らかの形で改良できないか」、「安価で生徒の環境を整えることはできないか」という課題で次年度に向けて学校と育友会で検討していく方向でまとまりました。実際に7年間のリースでかかる費用を算出したのが別紙になります。これからもわかるように負担が大きいことで設置は難しいという結論になりました。

もう一点、授業の在り方についても、本校は習熟度別に細かくクラスを分けて授業を行っており、応用クラスと基礎学力に特化したクラスに分けています。基礎学力クラスでは手厚くわかりやすい細かい授業をしておりますし、応用クラスについては生徒の持っている力をさらに伸ばせるようポイントを絞りながら授業展開しておりますのでその点をご理解いただきますようお願いいたします。

### (3) 学校からの説明（本年度の取組、成果及び課題）

教 頭：前回7月に行われました第1回評議員会においていただいた他のご指摘について本校がとった対応についてはお読みいただきたいと思います。

これから今年度の取組について4つの分掌から報告しますので、評議員の方々からご意見ををお願いします。

教 務 部：学習指導でいかに生徒に学力を付けていくかを考えています。全校による公開授業週間、補充補習指導、資格取得への補習、授業アンケート、習熟度別授業を実践いたしました。特に昨年度から重点を置いておりますユニバーサルデザインに基づいた授業の実践です。この意味はどのような生徒にわかりやすい授業を行うということです。難しいことを考えるのではなく、簡単なことから始めて全職員共通な認識のもと、指導にあたっています。具体的にはすべての教室に「本時の目標」「ポイント」「まとめ」のマグネットをセットし共通理解のもとすべての教員が指導をしております。もう一つはコミュニケーション能力をつける指導です。本校の生徒は自分の意見を述べることとか、相談して結論を出すことを苦手としていますので、授業のどこかで言語活動を取り入れてその力をつけさせる取組をしています。しかし、まだまだ取組が不十分ですので、これからもさらに充実していこうと思います。

生徒指導部：本年度は特に状況に応じて全校集会を実施するとか、常の生徒のことを考え、その場でできることを優先して行ってきました。また、年3回生徒に対して迷惑調査を行い、環境の改善や、いじめに繋がる事案を見つけやすい形にしています。今後検討を重ね改善をしていきたいと思っています。交通事故報告件数は皆無にはなりません大きな事故等は減少しています。遅刻生徒延べ数も大きく減少はしていませんが、特定の生徒の遅刻によるものが多いです。問題行動の生徒も減少しています。これからも継続してこの指導を続けたいと思います。スクールカウンセラーを取り入れておりますので、生徒がより良い環境の中で相談できるよう努力したいと考えています。

進路指導部：生徒にキャリアプランを持たせる指導と進路実現を達成できる力を付けさせる指導に力を入れています。いろいろな集会等を通じて生徒に講話をしています。求人者数や求人件数も年々かなり増加しており、非常に良い状況です。進路状況については進学が15%、就職が85%です。昨年度より就職者が増加しています。就職先等は資料のとおりですが半数以上の生徒が地元に残っているというのが現状です。県内就職も今年度は増加しています。また、就職試験にて不合格した生徒を分析すると、主な理由として基礎学力の不足、グループワークで自分の意見が言えないことおよび面接にて意欲が伝わらないことが挙げられます。今年度の反省を次年度に活かせるよう十分検討していこうと思っています。

工業部：3つの研究指定事業（魅力ある高校づくり推進事業、専門高校生地域連携推進事業、知的財産に関する開発事業）に向けて取り組んできました。地域との連携事業、地域に貢献する事業、地域のイベント参加事業を中心に他の様々な事業を行い、その中で生徒一人一人に職業人を目指すようしっかり目標をもって取り組むよう指導してきました。今年度も本校を紹介した冊子（高工インフォメーション）を持って中学校へ出向き説明することを行い、市内4校の中学校には本校の作品展の場を作るなどPRに努めました。また、今年度も中学生向き一日入学を土曜日に行うことにより多くの中学生、保護者に本校に来てもらうことができました。このように広報活動にも力を入れていますが、視点を変え、今後中学生の保護者に焦点を当てて学校のPR活動を行うことも視野に入れて広報活動をしていかなければと思っています。

#### （4）協議 テーマ「卒業作品展の感想と学校への提言」

- 意見1 初めて見学しましたが、結構粗削りな部分もありましたが、ひらめきの部分はすばらしいと思いました。案内係の生徒へ質問を幾つかしましたが、受け答えもしっかりしているし、コミュニケーション能力も結構良い生徒もいて、総合的にはすばらしい卒業作品展だったと思います。
- 意見2 今年で6回目くらいかと思いますがこれまで沢山見学させていただきましたが、今年度の作品展の特徴は、色々昨年と比べて出品数が多かったと思います。企業実習のツールも年々完成度が上がっていると感じました。小水力発電についてはとても興味を引いた作品で、エネルギー開発に取り組むこともこれからの工業には必要であると思います。その意味でこの展示は良かったと思います。総合的に見てとても良い卒業作品展だったと思います。
- 意見3 大変貴重なものを見た感じがしますし、有意義な時間を送れたと思います。作品自体にはいろいろ濃淡がありましたが、とても良い作品が多かったですし中にはツールのようにプロ級のものですぐ商品として売れるのではないかと思います。また、案内してくれた生徒がとても受け答えが良く、生き生き説明をしてくれた。その生徒に尋ねたところ、自分の進路についてはいろいろ考えて決定まで進めたことを聞きました。その決定まで至るまでにいろいろな先生のアドバイスをいただいて今に至っている。一人の生徒の進路決定にこの工業の先生方のアドバイスがしっかり浸透している事実に感動しました。とてもすがすがしい感じがしました。
- 意見4 卒業作品展を見させていただき、とても生徒一人一人が可愛らしく思いました。色々尋ねるとすごくわかりやすく、丁寧に、一生懸命真剣に説明している姿がとてもよく伝わりました。作品に対する熱意と思いが良く分かりました。沢山の新聞報道やこの資料でもわかるように生徒は自分たちの行っていることに向かって頑張っているのだなと思いました。「魅力ある高校づくり」での広報の話がありましたが、実際学校を見る機会が多い保護者にとっては工業高校はこんなすばらしいことを行っているんだということを日頃から感じ取れますが、まだ工業高校の素晴らしさを分かっていない保護者も多いと思います。工業高校の魅力に気づかないままの保護者のために、今以上にイベントや授業参観の場を設けることができたらいいなと思っています。本当に良い卒業作品展でした。
- 意見5 ここ5年間くらい卒業作品展を見させていただきましたが、少し寂しかったのは施設への寄付を考えて作成されるジャングルジムのものが無かったことに気づきました。他は災害に関する研究に代表されるように、3年間かけてじっくり研究されているものが多かったです。全体的に良い作品が多いと感じました。先ほどの話のとおり、工業の素晴らしいところをもっと保護者にPRする機会を設けたらと思います。就職に関してですが、ほとんどの生徒は目的をもって就職先を選んでいきますが、少数の生徒は目的もなくただ決め

る場合もあると思いますのでそのような生徒に配慮していただき目的意識を持たせよう  
な指導をお願いします。

- 意見 6 卒業作品展を参観させていただき、みんなそれなりに考えて作成していることを実感しました。今回は大きな作品が少なかったように感じます。そのかわり細かいもので工夫を凝らしたものの、また災害時に役立つものを作成しているものがあり、すぐにでも商品化できるようなものは多かったと思います。発想の転換ですばらしいものを作成している生徒が目立った気がします。他の方も言われていますが、広報の面では中学校の保護者、特にお母さんに向けた広報活動の働きかけが必要ではないかと思います。ブルーカラー（職人）とホワイトカラーを比べた場合、どうしてもホワイトカラーに目が行ってしまいますが、今はブルーカラー（職人）の人气が急上昇している。保護者の価値観の視点を変えることから始めなければ工業高校（専門高校）に目が向かないのではないかと思います。そのためには高校に来て見学してもらい機会を今以上に多くする。とにかく足を高校に運んでもらうことを増やすイベントや行事を計画してみてもはと強く思います。また、高校側からも小学校、中学校に保護者が集まるときに出向いてPRをしてみてもはと強く思います。資格のPRも同様です。今年の作品展は昨年と比べると中学生は制服ではなく、私服での参加が多く、とても身近に感じていただき、楽しむ形での参加が多く目立ったのでとても良かったと思います。
- 意見 7 屋台のLED化はとても地域に貢献していると思いますが、この調子で1年に1台ずつでも行ってゆくゆくはすべての屋台にLED化を進められないでしょうか。
- 意見 8 資料に工業の生徒のこれからの課題等がまとめられていますが、工業の生徒の強みとなる部分はどんなところでしょうか。
- 意見 9 迷惑調査等を実施して迷惑行為がわかった場合、しっかりその原因を追及して、そうならない環境を常に作ってほしいと思います。
- 意見 10 実際に生徒数がこの数年間で減少していくようですが、どのように減少していくのか具体的に教えてください。今年の工業の入学希望者はどのような傾向でしょうか？

## 6 会議のまとめ

今年度27回目を迎えた卒業作品展は評議員の方から年々レベルアップしているとの感想をいただき、ありがたく感じている。今年度も広報に努力し、中学生3年生はもとより、2年生までチラシを配布したり、地元自治会の回覧板にチラシを入れていただくなど広く活動を行った。学校経営としては4つの重点項目についてご意見をいただいたが、その中でユニバーサルデザインに基づいた授業の組織的な対応、職業意識の持たせ方、広報のさらなる工夫とその実施について関係分掌において今後さらに検討していきたい。